

鹿本高校SSH通信 Vol.53



はばたけ！サイエンスガールズ～おしえて！先輩～

鹿本高校理系女子育成プログラム Vol.1

6月17日(水)の理数探究基礎 YSP アカデミア第5回の企画「理系女子育成プログラム」において、熊本大学と連携し「はばたけ!熊本サイエンスガールズ『おしえて!先輩』」を開催し、本校1年生女子たちが、現役リケジョのリアルについて学びました。現在社会の理系分野において、技術革新のために女性の視点が求められています。本校では、SSH活動の一環として、このように新しい視点を反映できるような女子を育成することを目標の一つにしています。文理選択の前に理系進学を現実的な選択肢とするため、今回の企画を実施しました。



当日は、熊本大学より理学部や工学部の現役女子大生5名に参加をしていただき、理系に進んだ理由やその良さ、将来の夢などについて語っていただきました。複数の方が仰っていたことに、「数学は苦手だった」「理科が特別できたわけではない」というものがあり、それを乗り越えて理系へと進学したとのお話は、理系進学を考えている生徒にとって大変励みになるものでした。講師となったリケジョの方々には、「お金持ちになりたくて理系に行った」「医療系よりも、将来の幅が広い気がして工学部を選んだ」等、率直にご意見を述べていただき、生徒たちは、まさに「リケジョのリアル」を感じることができました。さらに「彼氏できますか」との質問にも、「いいんですか?理系の男子ですよ!」と、当意即妙の返しをされて、笑いを誘われていました。生徒たちが抱くステレオタイプな理系の女性のイメージをいい意味で覆していただき、大変よかったと思っております。本校女子生徒も、講師の学生の皆様のお話にしっかりと耳を傾け、ペンを走らせていました。この中から、理系へと進み、社会に新しい風を吹かせる生徒が数多く出て欲しいと願っています。



「サイエンス BOYS トレーニング計画」

理系女子育成
プログラム1裏企画

6月17日(水)理数探究基礎 YSP アカデミア第5回で、1年生男子が、手押し相撲必勝法の研究をとおり、仮説・検証を繰り返す「探究プロセス」について学習しました。生徒達は、先ず、柔道場にて、グループに分かれ、手押し相撲の必勝法についてインターネットで調べたり、ディスカッションをしたりしました。次にグループ内で実際に手押し相撲を行い、その様子を撮影、映像を分析した後、仮説(必勝法)を設定しました。そして、他のクラスと他流試合を行い、自らの仮説が正しいかどうか(勝てるかどうか)を検証しました。最後に、手押し相撲で勝ために、先ずやってみたり(予備実験)、調べたり(先行研究)した後、仮説(勝つための戦略)を立て、検証し(実際に手押し相撲をする)、また仮説を修正・検証し、さらに仮説を修正・検証し・・・という探究プロセスを踏んだことを確認しました。理系女子育成プログラムの裏企画として、男子同士で楽しく学び合うことができ、絆を深める時間にもなりました。

